



《 衝撃 》 “沖縄の心の支え” 首里城（世界遺産）焼失！ （10月31日）



調和の取れたたたずまいと堂々とした様子その城を、琉球の古歌はたたえている。「首里杜(しよりもり) げらへて げらへたる 清(きよ)らや 上下(かみしも)の世 揃(そろ)える ぐすく」(歌謡集『おもろさうし』)。つくり上げた様の美しいことよ、琉球の世の中をひとつにあわせる城よ▼沖縄の首里城である。五百年以上前に建てられて以来、丘の上から、日常も戦禍も、沖縄の歴史を見てきた。

人々にとっては、ひとつの文化や歴史の象徴であろう▼外から訪れる人にとっても、沖縄の美の象徴だった。民芸運動の創始者、柳宗悦(おねよし)は、日本のほぼすべての城下町を訪ねたが、美しさはここが一番であると断言している。「世界に誇り得る美しいものは非常に少(すくな)くなりました。その間に在(あ)って…首里は特筆されてよい」(『琉球の人文』)。その城が、焼け落ちた▼古語は知らなくても、「清らや」という言葉の響きが似合うと感じさせる建物が、火を噴いている。細工で飾られた朱色のあの外観が失われていくのを多くの人が泣きながらみつめていた。テレビの映像で、喪失感を味わった人も多かったろう▼柳宗悦がたたえた後、首里城は沖縄戦の砲撃で、破壊されている。それを含めて少なくとも過去に四度、壊滅的な被害を受けた▼そのたびに再建されている。戦後を含め、沖縄の再起を象徴する建物でもあろうか。今回も、と強く願わずにいられない。

11/1「中日春秋」(中日新聞)

《 常南のヒーロー 》 1年1組のみんなが両腕いっぱい落ち葉を！

私がランドセルの中身を床に落してしまったとき、牧 健太郎(1年)君が片付けるのを手伝ってくれました。うれしかったです。ありがとう！ (1年: 柴田和花)

中西 新(2年)君が放課、黒板をきれいに消してくれました。ありがとう！また、私がランドセルを落してしまったとき、中山譲二(2年)君が拾ってくれました。ありがとう！そして、私が消しゴムを失くしてしまったとき、稲田すみれ(2年)さんが貸してくれました。ありがとう！ (2年: 富田珠花)

奉仕作業のとき、小原奈央(4年)さんと川合望乃羽(4年)さんが、一生懸命作業して、落ち葉をたくさん拾ってくれました。すごいね。ありがとう！ (4年: 谷口陽菜)

今日の奉仕作業で、1年1組のみんなが手や腕が汚れても気にしないで、両腕いっぱい落ち葉を抱えていました。1年1組のみんなが集めた落ち葉が、5年生の身長半分ぐらいになりました。お陰で、溝の中がとてもきれいになりました。ありがとう！ (5年: 梅木あおい)

※「福寿会共同奉仕活動」…、福寿会会員の方々の協力のお陰で、運動場周辺がきれいになりました。